# 常陸の風

第109号　令和7年3月

～光風荘敷地内「限定特設東屋」にて～

# 「今、想う事」

支援Ⅰ課　課長　沼田 貴生

正解がないというのは本当に難しいです。

売り上げが必要な会社なら売り上げが伸びれば、病気の治療をするなら病気が治ったら、それは正しかったのだと思います。でも、毎日の生活やその人の人生は？と考えると容易に正解とは言えないのではないかと思ってしまいます。他人の生活のサポートに携わってきた方なら、何度も行きついて考え悩んできた難題ではないでしょうか。よくある話では「医者に止められている飲酒や食事を（薬を飲みながら）続ける人」などでしょうか。医療従事者や家族は止めるかもしれません。でも、もし当人がそれを望んでいたら、それを止める事は本当に正解なのか？という質問に満点の答えはあるでしょうか？私は「ない」と思っています。そもそも、人生に正解がないからだと思います。生き方は様々で、「健康に気を遣う人」「不摂生な生活をする人」など、色々なその人の選択があると思います。自立した生活をし、どんな生活をしたいか決められているなら、それは幸せな事ではないのかと思います。しかし、「環境によって選択肢が狭められている」「自分で伝えられない」「様々な人生がある事を知る機会が少ない」など、自分の生活や人生を、多かれ少なかれ自分で決められないとしたらどうでしょうか？

光風荘で暮らしている多くの利用者さんたちとは、私が入職した時に初めてお会いしました。何を感じてきたかは慮る事しか出来ませんが、どんな生活をしてきたのかは知っているつもりです。私たちの支援で利用者さんたちは本当に幸せな人生を過ごせているのか？と自問自答する事もあります。その間、色々なスタッフとも仕事をしてきました。「毎日楽しそうに仕事をする人」「ストレスをかかえながら仕事をする人」「次のステージを望んで辞めていった人」、また「定年退職までやり切った人」など、多くの方の人生の選択を感じる事がありました。

今は人材不足、スタッフが大事という時代なのだろうと思いますが、この難問を知ってもらい支援の難しさを伝えないで、次の世代にバトンを渡す事は出来ないと思っています。そして考えた末に結論が出ないまま「自分が信じる事」「自分が感じてきた事」を実践していくしかないのだろうと。利用者さんたちの表情や態度、ご家族の言葉を頼りに、今の支援がより良いものだと信じてやっていくしかないのかもしれません。ただ今の支援がゴールではなく、日々、自己の啓発と研鑽を重ね、より良い支援を目指していく。それが、私が「今、想う事」です。

# 保護者会だより

## 光風荘保護者会活動一年間のふりかえり

保護者会会長　野口 清

　2024年度の保護者会活動を振り返ってみました。コロナ感染症による混乱もようやく納まり、かつての姿に戻りつつありますが、新しい課題も見えてきた一年でした。
　定期総会やほぼ毎月開催する役員会、及び大掃除などの行事等は予定どおり開催できましたが、さらに新しい企画にも取り組みました。

　一つは、9月16日に開催した**「利用者の兄弟姉妹の交流会」**です。
　障害のある兄弟姉妹がいる“きょうだい”のみなさんが抱える悩みや不安は、周囲の人たちからはなかなか理解されていないと思います。そこで、そうした“きょうだい”の皆さんに集まってもらって、普段の生活では話す機会がないような様々な問題や悩みについて話し合う、会食付きの交流会を開催しました。
　交流会には、役員も含め11家族19名の参加を得ることが出来ました。参加者からは、子供の頃から思っていたが口に出せなかった気持ちや思いが語られ、共感の輪が広まりました。会食後は、関東三大祭りとして有名な「石岡のお祭り」を見学し、勇壮な獅子舞の行列に感嘆し、「楽しかった」「次回も参加したい」の声もでるなど、大変盛況でした。

　**「ボランティア感謝の集い」**も12月14日、4、5年ぶりに開催できました。保護者会も、利用者も参加できる「とんちクイズ」で場を盛り上げ、景品としてお菓子を配ったり、保護者全員でクリスマスソングを歌ったりしてボランティアの皆様に感謝の意を表しました。
　それと、光風荘の畑で栽培したさつまいもを、お土産に持って行ってもらいました。このさつまいもは、保護者会の役員を中心にして6月に畑を耕し植え付け、10月に利用者と一緒に収穫したものです。今年はもっと頑張って、焼き芋にして利用者やボランティアの皆様に提供してみたいと考えています。

　ただ課題も多々あります。昨今は、光風荘を苦労して支えてきた古くからの保護者会会員の訃報に接する機会が多く、一抹の寂しさとともに、何か身体の一部がもぎ取られたような気がします。
　重度身体障害者更生援護施設として「光風荘」が開設されたのは1987（昭和62）年。いまから38年前です。また、「光風荘アネックス」が開所したのは2003（平成15）年ですから22年前です。光風荘開設の運動に参加し、保護者会を立ち上げて利用者と光風荘を支えてきた保護者も高齢化しています。
　これからは、新しい世代にも光風荘と障害者を取り巻く課題等について知っていただき、次の世代の保護者会を引き継いでいって欲しいと願ってます。

# 光風荘だより

## 1/16　光風荘レクリエーション大会

ボウリング大会と
坂東太郎での食事を楽しみました★

GiGO　BOWL
石岡

目指せ
ハイスコア!!

素敵な笑顔で
大バズり!!

家族レストラン
坂東太郎　石岡店

# 2025

本年もどうぞ
よろしくお願い致します。

# 光風荘アネックスだより

## レクリエーション大会　１／１６

みなさんで楽しくお正月を味わいました♪

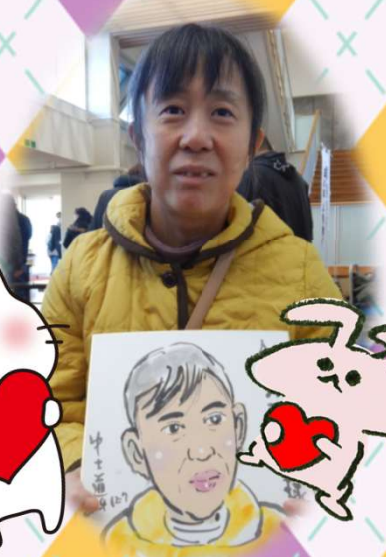
新年会

# ナイスハート ふれあいフェスティバル 2024

in　ザ・ヒロサワ・シティ会館

12/7
ナイスハート
ふれあい
フェスティバル
に見学へ
行きました。

似顔絵も
とてもよく
似ていますね！



# ボランティア感謝の集い

12/14
ボランティア
感謝の集いが
５年ぶりに
開催されました!!

# 第２回 石岡つくばね ハーフマラソン

2/16 いしおかイベント広場 START

こちらも久々の開催！光風荘3名、光風荘アネックス1名が出場しました。
皆さん練習を重ねて無事完走することが出来ました！

# ハタヤグループ様よりご寄付をいただきました

| | |
|---|---|
| ハタヤグループ仙友会 様 | 200,000円 |
| 幡谷　浩史 様 | 100,000円 |
| 幡谷　定俊 様 | 100,000円 |

温かいご支援ご協力、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

# ～赤い羽共同募金～

光風荘は任天堂Ｓｗｉｔｃｈ
光風荘アネックスはエアロバイクを
いただきました。

ありがとうございます。
～皆様で大切に使わせていただきます～

## 寄付金品名簿

ハタヤグループ仙友会 様　　幡谷 浩史 様　　幡谷 定俊 様

☆皆様からの温かいご寄付を頂きまして、心から感謝しております。

## ボランティア名簿

たんぽぽの会 様　　けやきの会 様　　ぽこ・あ・ぽこ 様

☆当施設をいつもお心にかけていただき、深く感謝しております。

## 防災訓練の実施状況

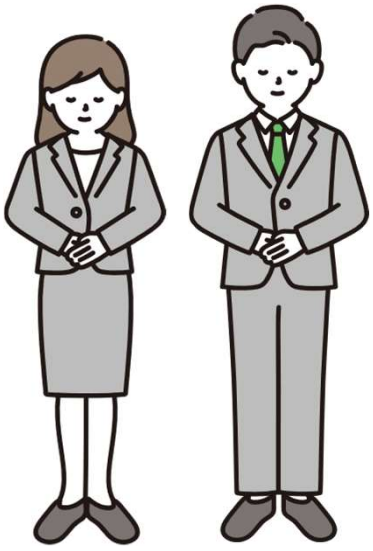
3月6日(木)不審者対応訓練実施、不審者対応訓練として、ビデオを見ながら不審者対応を学び、警察署の方に指導していただきながらさすまた・盾の使用訓練を実施しました。実際に不審者が現れた際学んだ事を活かせる様、対応していきます。

## ～苦情の受付状況～

**受付：1件　（対応済）**

**内容**：同行援護のサービス提供時間に間違いがあるのではないかとのご指摘がありました。

**対応**：施設内で調査の結果、苦情にある事実は確認できなかった事を伝え納得していただきました。




**ご意見、ご要望がありましたら、下記までご連絡ください**

〒315-0003　茨城県石岡市谷向町13番23号

社会福祉法人　　常陸青山会

障害者支援施設　光風荘

障害者支援施設　光風荘アネックス

TEL：0299-22-5811（光風荘）

TEL：0299-22-5848（光風荘アネックス）

FAX：0299-22-2577

ホームページ： http://www.kofuso.jp/

Eメール： kofuso@atlas.plala.or.jp

担当：中野・高階・小林・市毛・髙田


★本誌に掲載の写真・文章等は全てご本人の許可を頂き掲載しています。